

## 合同部活動の推進に関する実践研究

1 実施校	天童市立第一・二・三・四中学校																				
2 事業概要	①平日:ICTを活用し指導者からメニュー配信・リモート指導 休日:4校合同で活動(引率顧問は、輪番制) ②大会参加の工夫																				
3 種目	野球部																				
4 学校情報	(1, 2年生)																				
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">天童市立第一中学校</td> <td style="width: 10%;">部員数</td> <td style="width: 10%;">9 人</td> <td style="width: 10%;">顧問数</td> <td style="width: 10%;">2 人</td> </tr> <tr> <td>天童市立第二中学校</td> <td>部員数</td> <td>12 人</td> <td>顧問数</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>天童市立第三中学校</td> <td>部員数</td> <td>11 人</td> <td>顧問数</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>天童市立第四中学校</td> <td>部員数</td> <td>14 人</td> <td>顧問数</td> <td>2 人</td> </tr> </table>	天童市立第一中学校	部員数	9 人	顧問数	2 人	天童市立第二中学校	部員数	12 人	顧問数	2 人	天童市立第三中学校	部員数	11 人	顧問数	1 人	天童市立第四中学校	部員数	14 人	顧問数	2 人
天童市立第一中学校	部員数	9 人	顧問数	2 人																	
天童市立第二中学校	部員数	12 人	顧問数	2 人																	
天童市立第三中学校	部員数	11 人	顧問数	1 人																	
天童市立第四中学校	部員数	14 人	顧問数	2 人																	
5 事業連携に至るまでの経緯	<p>○合同部活動に至るまでの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数(野球部員)の減少→部活動の在り方検討(中体連野球専門部・学校)</li> <li>・野球人口(部員)の減少→対策案を検討(山形県野球活性化推進会議)</li> <li>・教員数の減少による顧問教員の負担増→部活動の再編検討(学校) →天童市内の野球部の合同部活動を検討</li> <li>・「合同部活動の推進に関する実践研究」受託</li> </ul> <p>○実際の活動が開始される案での経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 天童市野球連盟より天童市教育委員会へ説明・依頼</li> <li>・7月 天童市教育委員会より各校校長へ説明・協力依頼</li> <li>・7月 当該部活動関係者での運営委員会開催(第1回)</li> <li>・8月 合同部活動開始</li> </ul> <p>○顧問の指導体制(引率)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日、実際に生徒が4校集まって活動する際には、通常の活動であれば引率は1人でよいため、輪番で担当。</li> </ul> <p>○大会参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中体連主催の大会については、人数が足りており単独で出場できる場合には学校単位で出場する学校もあれば、足りない学校同士が合同チームを組んで出場する場合も考えられる。</li> <li>・中体連主催以外の大会については、合同部活動として、学年ごとにチームを組んで3チーム出場したりするなどして、生徒が成果を発表できる機会をできるだけ多く創出できるよう工夫。</li> </ul> <p>○クラブ指導者の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天童市野球連盟から外部指導者として派遣(外部指導者4名、兼職兼業6名)</li> </ul>																				

6 連携団体	天童市教育委員会・天童市野球連盟
7 主な活動場所	市内各中学校施設(グラウンド・体育館等)
8 移動手段	現地集合(自転車や徒歩、保護者送迎等)
9 アンケート調査より(対象:当該部活動の生徒・保護者・学校・顧問・クラブ)	<p>(成果)</p> <p>○合同部活動に対する満足度について      生徒 70.2%    保護者 75.0%</p> <p>合同の練習日が少ないので、もっと増やしてほしいとの声もあることから、生徒のニーズに応えた活動となっていることが窺える。</p> <p>○各関係機関との連携について</p> <p>天童市教育委員会や天童市野球連盟と連携が図られていることから、事業がスムーズに実施されている。</p> <p>天童市野球連盟と連携して実施しているため、指導者については、常に専門的な指導者を複数確保できている。</p> <p>兼職兼業で活動している教員もいる。</p> <p>○時間外勤務時間における部活動指導時間</p> <p>当該顧問の時間外における部活動指導時間平均(1カ月当たり)</p> <p>6月 1, 680分 → 11月 1, 128分    3割以上削減</p> <p>合同部活動をしたことで、休日の指導を輪番にでき、休みやすくなった。</p> <p>(課題)</p> <p>▲合同部活動の実施について</p> <p>学校や顧問は、生徒・保護者に対して合同部活動について理解を得ることに苦慮しているようだ。</p> <p>▲指導者の指導方針の違い</p> <p>指導方針が違うのではなく、投げ方や打ち方等多くの理論があるため、指導理論の違いを、生徒は感じている。自分で取舍選択し、考える力を養っていく。</p> <p>学校単位チームを前提とする「部活動」のイメージを刷新する必要がある。</p> <p>▲活動場所への移動手段</p> <p>休日の活動場所への移動手段が自転車や親の送迎となっている。活動場所から遠い地区の生徒の家庭は、送迎が負担と感じているようだ。</p> <p>▲業務分担の整理</p> <p>合同部活動にしたことで、連絡調整等の新たな業務があることから、4校の顧問同士で業務を整理して分担する必要がある。</p>
10 実践研究を通しての感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことを試し、試行錯誤しながら実践研究を進めている。</li> <li>・年度途中からの開始のため、方針を整えることや学校や保護者、生徒の理解を得ることが難しかった。(現在も)</li> <li>・生徒自身は活動自体を楽しく有意義に行っていると感じている。</li> <li>・部活動や大会、練習試合等々との折り合いをつけながら行わなければならない、今の1年生の代になるときまでには整理したい。</li> </ul>